

科目名	健康社会学						
英語科目	ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n)を参照					
開講期	春学期	開講学部等	現代社会学部	配当年次	2年次	単位数	2単位
教員名	濱野 強						

授業概要／Course outline

本授業は、健康社会学の基礎の理解を促すとともに現代社会の中における健康課題を考察し、健康と家庭、地域社会、職場、学校の関連について論じることを目的とする。授業では、疾病生成論、健康生成論、ヘルスプロモーションなど健康社会学に関連する主要な理論を紹介するとともに、健康課題の歴史的変遷を論じる。そして、超高齢社会が直面する世帯構造や地域社会の機能の変化、学び方・働き方の理解を通して現代社会の健康づくりのあり方についても論じる。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

- ・ICTを活用した授業（形態：遠隔教育（ビデオ・オン・デマンド等））
- 90分相当のオンデマンド授業を行う。

授業内容・授業計画／Course description・plan

第1回 テーマ：イントロダクション・健康課題と健康政策（法律）の歴史的変遷

この授業のスケジュール、事前・事後学修の方法、教材、履修上の注意、評価の方法等を説明した後、健康と社会の関係について解説する。

第2回 テーマ：疾病生成論・健康生成論

疾病生成論、健康生成論について解説し、2つの理論に基づき自らの健康状態についての理解を深める。

第3回 テーマ：身体活動と健康

日常生活の振り返りを通して、身体活動と健康の関係について理解を深める。

第4回～5回 テーマ：健康格差

健康格差について、国内外の研究により明らかになった成果を解説する。その際には、健康行動や部活動など幅広く理解を深める。

第6回 テーマ：超高齢社会の健康課題を近隣環境から考える

超高齢化社会の健康課題について解説する。そして、健康課題と近隣環境との関係について理解を深める。

第7回 テーマ：運動処方とウォーカビリティ

運動処方の必要性とその方策について理解を深める。

第8回 テーマ：健康社会を創る新たな視点—スポーツツーリズム

わが国におけるスポーツツーリズムの現状と課題について理解する。

第9回 テーマ：健康社会を創る新たな視点—ヘルスツーリズム

わが国におけるヘルスツーリズムの現状と課題について理解する。

第10回 テーマ：スポーツ関連法規・スポーツリスクマネジメント

スポーツ関連法規・スポーツリスクマネジメントにおいて必須となる知識を理解する。

第11回 テーマ：スポーツ事故発生時における法的責任と過失

スポーツ事故発生時における法的責任と過失において必須となる知識を理解する。

第12回 テーマ：健康運動指導の事故発生時における法的責任と過失

健康運動指導の事故発生時における法的責任と過失において必須となる知識を理解する。

第13回 臨時筆記試験・解説

授業の内容についての筆記試験を実施し、解説を行う。

第14回 試験の解説・まとめ

第13回から引き続き試験の解説を行うとともに、授業全体のまとめを行う。

★オンデマンド テーマ：社会と人権：格差、オリンピック・パラリンピックの視点から考える

健康社会学を格差、オリンピック・パラリンピックの視点から解説する。オンデマンド授業は、約90分の動画を7月30日までにmoodleで配信する。

事前・事後学修／Preparation and assignments

第1回 テーマ：イントロダクション・健康課題と健康政策（法律）の歴史的変遷

【事前学習】 moodleにアクセスし、第1回プリント等を参照し、授業内容を確認しておくこと。

【事後学習】 授業中に実施した課題について、配布プリントを活用して復習すること。

教材は、必要に応じて授業中に配布する。

参考図書等：Thomas R. Baechle, Roger W. Earle著，金久博昭・岡田純一監修「NSCA決定版ストレングストレーニング&コンディショニング第4版」（ブックハウスHD, 2018年）

質問や相談の方法／Instructor contact

授業に関する質問や相談は、次のいずれの方法でも対応する。

- ・オフィスアワー時の研究室訪問（時間帯は初回授業時に説明する）
- ・連絡先：moodleに記載したメールアドレス